

社会福祉法人岐東福社会
令和3年度事業計画

令和3年度社会福祉法人岐東福祉会 事業計画

【社会福祉法人岐東福祉会の概要】

- 1 設立 平成10年10月
- 2 社会福祉法人岐東福祉会が行う事業
 - (1) 第一種社会福祉事業
 - ・ 障害者支援施設の経営
 - 名称 障害者支援施設はなみずき苑
 - 所在地 岐阜県岐阜市大洞三丁目4番5号
 - 施設入所支援（定員60名）
 - 生活介護（入所定員60名 通所定員30名）
 - 短期入所（定員6名）
 - (2) 第二種社会福祉事業
 - ・ 障害福祉サービス事業の経営
 - 日中一時支援事業
 - ・ 特定相談支援事業の経営
 - ・ 一般相談支援事業の経営
- 3 法人の経営体制
 - (1) 評議員会 定款の変更、計算書類及び財産目録の承認、理事及び監事の選任又は解任を決議する。
 - ・ 評議員の定員：7名以上14名以内
 - 現員：8名
 - (2) 理事会 法人の業務執行の決定、理事職務の執行の監督並びに理事長の選定及び解職をおこなう。
 - ・ 理事の定員：6名以上12名以内
 - 現員：7名
 - (3) 監事 理事の職務執行及び計算書類等の監査、監査報告書の作成をおこなう。
 - ・ 監事の定員：2名以上
 - 現員：2名

【法人の理念】

「人として生まれ 人として生き

人として生命を全うできるよう 最大限の支援をめざす」

【基本方針】

私たちは、障害者支援施設を運営する法人として、障害のある方が生きがいや目的を持って生活できるように、一人ひとりの可能性を重視するサポートを提供していきます。また、高い公共性ととともに、質の高いサービスが求められる社会福祉法人とし

での自覚を持ち、「安らぎのある生活環境」、「人材確保と育成」、「地域福祉への貢献」を目指しています。

1 安らぎのある生活環境

すべてのご利用者様が安全で心休まる生活が営めるように、利用者主体の良質なサービスを提供します。また、ご利用者様、ご家族様、そして職員の心が通い合い、笑顔で過ごせる生活環境の実現を目指します。

2 人材確保と育成

ご利用者様のニーズを十分に反映した最善のサービスを提供するために、職員の支援技術の向上に努めます。また、職員が安心して生活設計を立てられる雇用環境を目指します。

3 地域福祉への貢献

障害者支援に関するノウハウを活かし、関係機関・団体等との連携を図ることによって地域社会に密着した施設を目指します。また、障害者福祉の地域拠点となることにより、法人全体で地域福祉の向上に寄与していきます。

【令和3年度の取り組み】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症等に対する徹底的な防止に力を入れ、ご利用者様、ご家族様、職員ともに安心して過ごすことができるよう対策を進めています。

また、国及び所管庁当による福祉政策の変化に対応していくため、法人連係又は法人合併等も視野に入れた準備を始めて参ります。

1 安らぎのある生活環境

- (1) 関係官庁及び医師等の指導のもと、感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等）の予防に努めます。
- (2) 火災や地震を想定した避難訓練、不審者に対する防犯訓練等を実施し、予見可能な事態に備えたりスク管理を行います。また、ヒヤリハット事案の調査や事故の検証などの予防措置を行い、利用者が安心して生活できる施設となるよう改善に努めます。
- (3) ご利用者様が安心して笑顔で過ごせる施設となるよう、虐待や不適切なケアの防止に積極的に取り組んでいきます。具体的には、職員による定期的なセルフチェックの実施、利用者が意見を投稿できる「ご意見箱」の設置、ご家族様やご利用者様からの評価や意見を受ける「アンケート箱」の設置など、サービスの向上に努めます。
- (4) 専門機関と連携して口腔ケアを推進し、利用者の健康維持に努めています。
- (5) 心身の活性化につながる音楽療法やスヌーズレンなどを活用し、生活に安らぎを見いだせるよう取り組みます。また、機能訓練を兼ねたレクリエーション活動を充実させることで、身体機能の維持・向上を図り、健康的な生活をサポートします。柔道整復師による施術等のサービス提供については、奥村理事長が理事長業務に当たる時間以外に可能な限り実施します。

(6) 日々の観察や対話を通じて個人のニーズを把握し、サービスの提供に反映させていきます。一人ひとりの障害特性に配慮した個別支援をさらに充実していきます。日常生活の中でご利用者様が自ら判断できるような意思決定支援を推進します。

2 人材の確保及び育成

- (1) 職員の自己研鑽を深め、自己啓発と資格取得（社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士など）を推奨します。
- (2) 職員のスキルアップのための施設内研修や外部研修等への派遣を積極的に推奨することで、職員としての自覚を育み、知識や技術を身に付けていけるよう施設として最大限に支援していきます。
- (3) 職員による各委員会活動を積極的に支援し、自由闊達なコミュニケーションに配慮した職場環境づくりをとおして、職員が安心して勤務を続けられる雇用環境を実現していきます。
- (4) 職員の業務負担軽減につながる福祉機器や福祉用具を積極的に導入するとともに、少人数でも効率的な業務ができるようICT化を推進します。

3 地域福祉への貢献

- (1) 地域の緊急支援体制拡充に伴う短期入所事業の委託を受託し、地域福祉に貢献できる事業展開を図ります
- (2) 大規模災害に強い施設を目指し、地域の福祉避難所としての役割を進めていきます。

4 法人連携への準備

- (1) 岐東福祉会の存在意義及び地域福祉業界での役割を再確認し、法人連携への準備を始めて参ります。また、法人合併等に関する情報を収集していきます。
- (2) 障害者支援施設はなみずき苑のブランド力を一層向上させるための具体的な取り組みを進めていきます。

以上